



4 環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち			
分類	内容	時期	必要額
住環境や緑地の保全	③② 下水道普及率を6%向上させる 56%→62%へ	平成24年度	26億円 うち市負担額 15.7億円
	③③ まちをきれいにする条例(ポイ捨て禁止条例)の制定	平成22年6月	67万円
	③④ 景観条例の制定 住宅都市にふさわしい良好な景観を保全するため景観条例を制定するとともに、景観法に基づく景観計画を策定する	平成22年度	計画策定 800万円
	③⑤ 「市民の森」制度の創設 私有地を「市民の森」として市が借り上げ、市民の散策等に活用していただく	平成22年度	補助金 500万円/年 (みどりの基金利用)
都市基盤整備・交通	③⑥ 大学、産業施設、住宅、保全緑地、公園等からなる学研高山地区第2工区の見直し案の検討を継続 福祉財源確保のための税収増と自然環境保全の両立を目指した見直しに向け、奈良県及び都市再生機構との協議を継続し、事業の実現可能性を判断	平成22年度	県の調査費の一部負担 2,500万円
	③⑦ 生駒駅前北口第二地区の再開発ビルの竣工 住宅、駐車場、広場、図書室などが入ったコンパクトで採算性の高い再開発ビルを建設	平成25年	補助金 27億円 うち市負担 10億円
	③⑧ 生駒駅から北に延びる松ヶ丘通り線の拡幅及び歩道整備工事の竣工 車の走りにくさと歩きのくさを解消し、駅前にふさわしいすっきりした道路に整備する	平成24年度	5億円
	③⑨ コミュニティバスのルートを2つ以上新設 生駒市地域公共交通活性化協議会でルートを決定	平成23年度	2,000万円

<b>前回のマニフェストでは次のようなことが達成されています。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃プラごみのモデル地区を拡大</li> <li>● 校庭の芝生化(鹿ノ台小・生駒小)</li> <li>● みどりの基金を創設</li> <li>● 公共施設の自動販売機を順次撤去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃食用油から精製したBDFでコミュニティバスたけまる号の走行実験 etc...</li> </ul>
-------------------------------------	--	---

5 地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力のあるまち			
分類	内容	時期	必要額
農・商・工業、観光の振興	④⑩ 遊休農地活用事業の貸付面積を3ヘクタール以上に拡大する 市が農家から遊休農地を借り入れ、営農希望者に貸し付ける事業をさらに充実させる	平成25年度	300万円/年
	④⑪ 北田原工業団地と国道163号線を南北に直結する新道の開通 同団地の貧弱な道路事情を抜本的に解消し、既存企業の活性化と新規企業の誘致につなげる	平成24年4月	6億円 うち市負担 2.7億円
	④⑫ 新規に8社の企業誘致 地域経済の活性化と市内の就業機会の増加を図るため、環境に配慮した企業誘致を行う	平成25年度まで	
	④⑬ いこま国際音楽祭を開催する 平城遷都1300年祭関連事業として実施する	平成22年秋	1,200万円 うち市負担 400万円

